



申請方法

ステップ① 申請書を書き始める前に

事業実施の背景や地域のニーズ等について、できる限り、地域の方や関係する行政機関等の意見を聴いてください。各区役所・支所の地域力推進室に相談することも可能です。

目的や達成目標を再確認して共有するとともに、考えている事業内容が目的達成のために最善の方法なのか、今一度、グループ内で話し合っておきましょう。また、継続事業については、これまでの取組をしっかりと総括し、改善点や新規性について、申請書に反映できるように整理してみましょう。

ステップ② 申請書を書こう！書式ダウンロード

★審査基準をチェックしよう！

特に一次審査は提出する書類がすべて。どのような基準で審査されるのかを確認しよう。

★何のために事業を実施するのか？目的と地域における必要性をしっかりと書こう。

ステップ①で地域の方や区役所等に意見を聴いたグループはその内容も書こう。

★連携する（または連携予定の）相手は誰？それぞれの役割は何？具体的に書こう。

本事業は、大学・学生と地域が同じ目標に向かって連携することで得られる学びを重視しています。

★感染症対策は大丈夫？取組・イベント内容・関わる対象者等を考えて具体的に書こう。

コロナ禍の中でも皆が安心して活動できるように、取組やイベントで関わる人（ご高齢の方、障害のある方など）の状況等を踏まえて、必要となる感染症対策をしっかりと考えよう。

SDGsについても考えてみよう！私たちの取組はSDGsのどの目標の達成に貢献できるのかな？



記入のポイント

申請書類の書き方などに困ったときは…

「やってみたいことはあるけど、コロナ禍の中で外に出るのは気が引ける…」、「ご高齢の方と関わるイベントだけど、感染症対策ってこれでいいのかな？」、「ネット環境を整えたいけど支援金って使えるの？」など、不安や疑問があるときは、大学コンソーシアム京都まで、お気軽にご相談ください。電話、メール、オンラインでの相談も受け付けています。

ステップ③ 事業概要の登録

大学コンソーシアム京都 HP にアクセスし、「令和4年度学まちコラボ事業」への応募オンラインフォームで事業概要を登録しよう！（150字以上200字以内）



ステップ④ 申請書類の提出

応募期間内に申請書類を提出しよう！！

募集期間	令和4年4月1日(金)～5月20日(金)午後5時
提出物	①申請書類データ（MS-Word） ※大学コンソーシアム京都HPからダウンロードした所定の様式を変更しないようにしてください。 ②参考資料データ（A4サイズに換算して10ページ程度まで）※ある場合のみ
提出方法	①②ともに大学コンソーシアム京都HP「令和4年度学まちコラボ事業」申請書類提出フォームから提出してください。紙媒体での提出は不要です。

※申請内容は、事務局から、活動を実施する行政区の区役所・支所に提供します。また、申請内容について、区役所や支所から問い合わせる場合があります。

お問合せ先

(公財)大学コンソーシアム京都 学まちコラボ事業担当
TEL：075-353-9130 / FAX：075-353-9101
(※日・月を除く午前9時～午後5時)
Mail：gakumachi-admin-ml@consortium.or.jp
〒600-8216
京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



検索

学まちコラボ



学生と地域の取組を応援！！



学まちコラボ 令和4年度 事業募集



「学まちコラボ事業」って？

京都市と（公財）大学コンソーシアム京都では、大学・学生と地域が『コラボ』して京都のまちづくりや地域の活性化に取り組む企画・事業に支援金を交付し、取組を支援する「大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）」を実施しています。

「大学のまち京都・学生のまち京都」という都市特性を有する京都市では、世界中から集まる学生が地域に飛び出して、まち全体をキャンパスにして学びを深めており、そのことが学生の成長はもとより、地域の抱える課題の解決や賑わいの創出等を通じて、まちの活性化に繋がっています。

コロナ禍の中、以前と同様の地域連携活動は難しいかもしれませんが、学生の皆さんならではの視点や発想で、時代の流れに即した新たな地域連携の形にチャレンジしてみましょう！

オンラインを使った取組にもチャレンジしてみよう！

感染症対策を徹底して活動しよう！



京都の学生の皆さん！！あなたの考える、地域を元気にする活動への一歩をぜひ踏み出してみてください！

支援金額最大30万円、採択件数10～15件

令和5年3月に開催する成果報告会では、最も優秀であると認められた事業の実施団体（1団体）を表彰し、**賞状、トロフィー、活動奨励金10万円**を贈呈します。

大学コンソーシアム京都のHPから申し込んでね！



令和4年度 事業募集説明会 オンライン開催

日時 ①令和4年4月20日(水) 午後6時～
②令和4年4月23日(土) 午前10時30分～

募集期間

令和4年

4月1日(金)～

令和4年

5月20日(金)午後5時

本事業は、令和4年度予算の成立が前提であり、今後、事業の内容等に変更があり得ることをあらかじめ御了承ください。



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

<連携・協働って？>

学まちコラボ事業が考える「連携・協働」とは、市民や事業者の皆さまなど京都市で暮らす地域の方々と大学・学生が、「地域のために」という目的・目標を共有し、ともに手を取り合って活動することです。

相手探しや目標の共有など、連携のコツは

「大学・地域連携ポータルサイト GAKUMACHI STATION」
<https://www.gakumachi.jp/> をチェック !!



対象となる団体

大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の団体・グループ※¹ 又は 主に京都市域を対象に活動する地域団体※²

※¹：大学部署、研究室、ゼミ、クラブ、学生サークル〈複数の大学の学生により構成されるサークルも可〉など

※²：自治会や町内会などの住民組織、市民活動団体、事業者等で構成される団体・グループ（商店街など）など



対象となる事業

京都市内における地域の課題解決や活性化を目的として、令和4年度中（採択日から翌年（令和5年）3月末まで）に京都市内で実施される、次の要件に該当する事業を対象とします。

ただし、政治活動、宗教活動、特定の思想を普及する活動、暴力的・破壊的活動、営利事業等を目的とするものは除きます。

★新規事業については、将来的に地域との協働が期待できるものも可とします。

コロナ禍の中では、これまで行ってきた地域連携活動を行うことが難しく、地域との連携を深めることが困難になることも想定されるため、今回は、申請時に具体的な連携先が決定していない場合や、地域への提案に向けた事業（商店街のPRを行うためにお店の広報動画を作成するなど）等についても対象とします。ただし、そのような場合においても、オンライン等を活用しながら、地域のニーズを把握していることが望ましいです。

要件

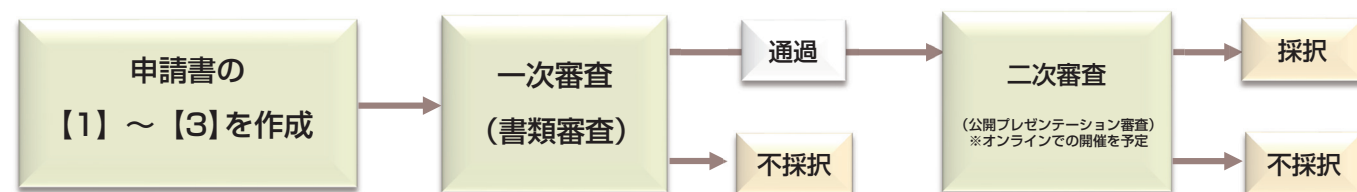
- ① 団体・グループとして、**大学・学生グループと地域**（主に京都市域を対象に活動する住民組織や市民活動団体、事業者等※）とが**連携・協働して取り組む事業で、特に、学生が主体的に活動を行うもの**。
※行政機関を連携先を含めてもよいが、行政機関のみとの連携は不可。

取組例 保健・福祉、社会教育、まちづくり、学術・文化・芸術又はスポーツの振興、環境保全、地域安全等の様々な分野における調査研究、市民講座、イベントなど。

- ② 学まちコラボ事業以外の京都市からの助成金・補助金を受給していないもの。
- ③ 学まちコラボ事業感染症対策ガイドラインを遵守するもの。
※¹：ガイドラインの詳細については、別添「学まちコラボ事業感染症対策ガイドライン」をご確認ください。
※²：新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、活動の一時停止や中止等を要請する場合があります。また、今後の活動の進め方に迷った場合などは、大学コンソーシアム京都までご相談ください。



申請から審査までの流れ



選考方法・申請後のスケジュール

- ① **一次審査（書類選考）**：募集締切後～6月中旬
以下の審査基準に基づいて申請書類を採点し、得点の高い事業が二次審査に進みます。

一 次 審 査 項 目	審 査 基 準
事業のニーズ	事業実施の目的が、対象地域にとって必要性・重要性の高いものか。
効 果	目的に対する効果が期待できる取組内容になっているか。
協働の深さ	大学・学生と地域の双方が主体的に取組に関わることができるか。協働を通じた相乗効果をえられるか。または、将来的にそれらを期待できるか。
モデル性・将来性	大学・学生と地域の連携モデルとして、他地域の参考となる取組か。事業内容の深化や拡大、発展などが期待できるか。
アイデア・先進性	独創性や先進性のある取組か。
収支予算の適切さ	適切な収入・経費で予算が立てられているか。

- ② **二次審査（公開プレゼンテーション）**：令和4年6月19日（日）※オンライン開催を予定

- ③ **支援事業決定、選定結果の通知**：令和4年7月上旬

- ④ **認定式**：令和4年7月上旬～中旬

- ⑤ **活動の実施、中間報告書の提出**

- ⑥ **事業報告会（令和5年3月中旬～下旬）
事業報告・決算報告書の提出**

二 次 審 査 項 目	連携に対する熱意も重要！！ インパクトや面白さ、活動への熱意が感じられるか など
事業のニーズ・効果	
協働の深さ	
事業の魅力	
学生の熱意	



支援金について

支援金は、認定された事業に対し、認定式後（7月下旬頃）に交付します。

支援金の対象となる経費 「申請した取組に直接かかる費用」のみ

旅費交通費・通信運搬費・諸謝金・会議費・印刷製本費
資料費・機材購入費・消耗品費・感染症対策費・その他

支援金の対象とならない経費

各団体の運営のために支出する経費
事務処理にかかる間接経費・飲食費
申請団体メンバーへの賃金等

※支援金は、オンラインでの活動、感染症対策を充実させるための内容にもご利用いただけます。

【使用例】 Wi-Fiルーター・Webカメラのレンタル、HPの作成、フェイスシールド・消毒液の購入

支援金の使い方に迷ったときは、
大学コンソーシアム京都に
相談してね♪

